

はじめに

令和2年度から小学部で新学習指導要領が全面実施となります。今回の改訂では、共生社会の形成に向けて、一人ひとりの児童生徒の教育的ニーズをとらえ、能力を最大限まで高める教育が目指されました。その中では、障害のある児童生徒について、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ継続的に行うこととしています。

現在、病弱虚弱特別支援教育においては、精神疾患及び心身症が最も多い病類となっており、こうした「こころの病気」に関する症状も多様化の傾向にあります。その中で各特別支援学校においては、一人ひとりの教育的ニーズの把握に努め、きめ細やかな支援を行ってきました。また、「こころの病気」への支援は、共生社会の形成に向けて、特別支援学校にとどまらず、小・中学校、高等学校にも求められています。本委員会ではこうした状況の下、これまで「事例集Ⅰ～Ⅳ」を発売してきたところですが、これらの教育的支援をより組織的・継続的に行うために、平成30年度から2カ年計画で、事例集Ⅴの作成に取り組んできました。

今回の研究では、教育的支援をより組織的・継続的なものにすることを目指し、国立特別支援教育総合研究所の「Co-MaMe（連続性のある多相的多階層支援）」を利用して児童生徒の教育的ニーズを把握し、自立活動で実践したことを3枚の事例シートにまとめました。是非ご一読いただければ幸いです。

今回の「Co-MaMe」の利用にあたっては、国立特別支援教育総合研究所の土屋忠之先生にひとかたならぬご指導・ご助言を賜りましたことを、改めて厚くお礼申し上げます。また、ご多忙の中、事例提供にご協力いただきました特別支援学校の先生方に厚くお礼を申し上げます。この事例集Ⅴが子どもたちへの支援や先生方の情報共有化促進の一助になることを願ひまして、巻頭の言葉とします

全国病弱虚弱教育研究連盟 心身症等教育研究委員会
会長 沼口 明夫（札幌市立山の手養護学校長）

※「Co-MaMe（連続性のある多相的多階層支援）」については、以下の国立特別支援教育総合研究所のHPよりご覧ください。

[基幹研究]精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究
(平成29～30年度)研究成果報告書(平成31年3月発行)

<http://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/2703>

上記の中に「精神疾患及び心身症(こころの病気)の教育的ニーズ・チェックリスト」(P186～187)及び「支援・配慮例のイメージ図」(P199～219)が記載されています。

※ 研究に当たっては以下の手順により3枚の事例シートを作成しています。

- (1) 「Co-MaMe」を利用して、「Co-MaMe」による分類 A1～F5 について教育的ニーズを把握し、チェックリスト(1枚目)に記入する。
- (2) 教育的支援・配慮の整理・変容シート(2枚目)の手順①～⑤により記入する。
- (3) 自立活動事例シート(3枚目)を作成。「Co-MaMe」の支援・配慮事項を活用する。
- (4) 手順⑥～⑦により教育的支援・配慮の整理・変容シート(2枚目)に記入。